

平成25年度 事業報告書

はじめに

理事長 鈴木純恵

今年1月に障害者の権利条約が批准されました。障壁は障害にあるのではなく、社会にあるとしています。権利条約が批准される前に慌ただしく、障害者虐待禁止法・障害者差別解消法が成立し、また障害者雇用促進法も改正され、昨年の4月から法定雇用率1.8%から2%になりました。少しずつではありますが障害者があたりまえに生活をし働くための条件が整ってきました。

特に、民間企業での障害者の雇用は進みつつあり、民間企業での雇用率が平成15年では1.48%であったのに対して、平成25年度には1.76%と上昇しています。平成25年度の民間企業での障害者の雇用者数は409,000人でそのうち75%が身体障害者です。精神障害者が社会で働くのは難しいとされ、障害者雇用の全体の約5%で22,000人です。他の障害に比べてまだまだ低い現状があります。

また、就労支援事業などの福祉サービスを利用して民間の企業に就労している精神障害者は、サービス利用者の内3.6%程度です。

そのなかで、当法人から民間企業等への就労を目指す就労支援では、今年度26人が就労でき、しっかり成果をだしました。日々丁寧に利用者に関わり利用者の気持ちに添った支援が実を結んだと言えます。

I 経営状況

経営状況は、利用者が増加していることにより収入も増加し、経営は安定しています。利用者の満足度のアップが施設運営の基本であることを認識し、利用者支援の基盤づくりのため人材の確保、育成に努め、引き続き職員の待遇改善を図りました。また計画相談事業を行うための人材を確保したため、前年度に比べ人件費支出が高めになっています。

自立支援費収入推移

単位：円

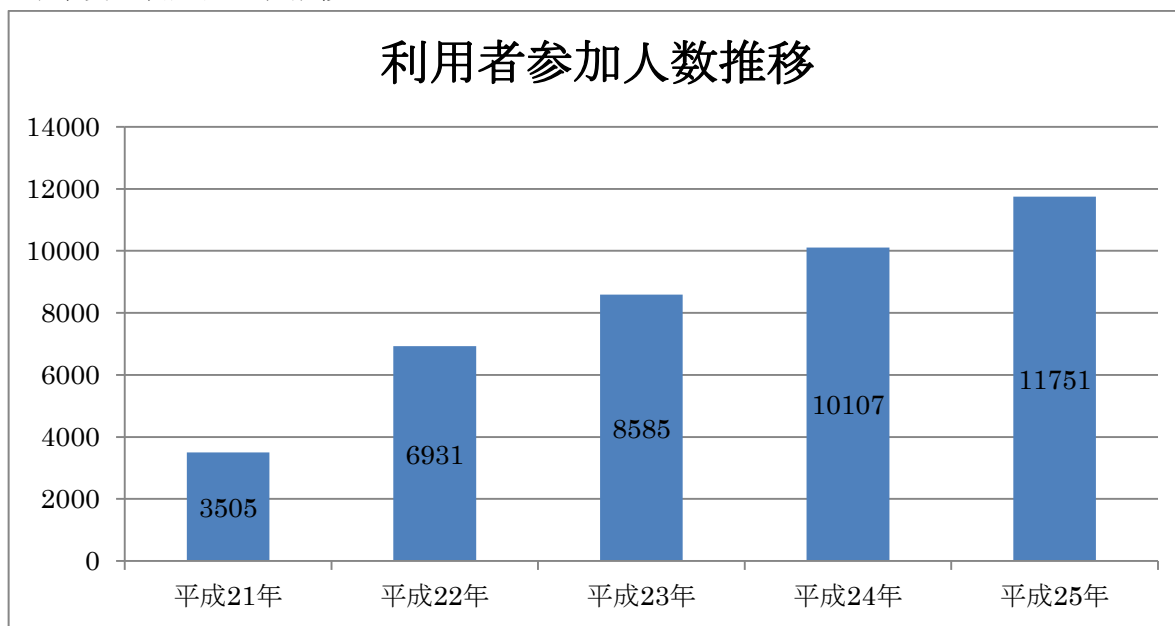
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	合計	合計	合計	合計	合計
事業活動収入	53,007,673	89,787,042	107,964,925	123,349,924	129,980,285
(自立支援費収入)	42,560,012	74,971,087	89,108,914	107,616,023	114,757,913
事業活動支出	77,764,065	79,408,175	93,357,245	109,745,041	120,297,350
(人件費支出)	44,185,975	50,971,792	63,126,282	78,817,468	88,831,874
収支差額	-24,756,392	10,378,867	14,607,680	13,604,883	9,682,935

II 福祉サービス事業概況

参加者数は増加しています。働ける部門を多くし受け入れやすい環境を作りました。

1. 多機能型事業所 あみ 利用者状況

1) 年度別利用参加者推移



2) 多機能型事業所 あみ 利用者状況 (全体) (人)

施設全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	962	1061	1017	1053	1013	873	1070	993	983	903	873	950	11751
新規入所者数	6	3	5	4	3	6	4	1	6	4	2	2	46
退所人数	0	0	1	1	14	0	0	0	0	0	0	0	16
利用率	76%	84%	85%	80%	77%	77%	81%	75%	86%	79%	77%	79%	80%

3) 支給決定市町村別利用者数

住所	利用者数
相模原市	91人
町田市	11人
座間市	11人
横浜市	2人
大和市	2人
厚木市	1人
合計	118人

Ⅲ 利用者支援について

「作業は利用者中心」「仕事ができないのは支援者の問題」「運営にも主体的に関わっていただく」の基本的方針のもとで利用者を支援し、作業現場を整え、手順書の充実など利用者に作業しやすい環境を提供できました。また手順書等で明確な基準があることで職員も利用者支援の充実につながりました。

1. 就労移行支援事業 定員20人

定員を24人から20人に変更し、しっかり社会で働くことを支援し、利用者の回転率を良くしていくことを目標にしました。今年度就労した利用者は21人でした。新規の入所者も19人だったので上手く機能していると言えます。

1) 就労移行支援事業 利用者延べ数 (人)

就労移行支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	369	391	384	377	332	307	413	367	399	370	350	362	4421
新規入所者	2	0	1	1	1	2	2	0	4	3	1	0	17
退所人数	0	0	1	1	7	0	0	0	0	0	0	0	9
利用率	88%	93%	96%	86%	75%	81%	94%	83%	105%	97%	92%	91%	90%

2) 就労者年度別推移 (人)

	就労移行支援事業	就労継続B事業
平成21年度	1	0
平成22年度	2	1
平成23年度	9	2
平成24年度	6	3
平成25年度	21	5
合計	39	11

3) 業種別就労者数 (内 就労継続Bからの就労者5人)

業種	利用者数
建設・採掘の職業	4
サービスの職業	1
運搬・清掃・包装等の職業	7
卸売業・小売業	1
事務的職業	6
生産工程の職業	4
専門的・技術的職業	1
販売の職業	1
輸送・機械運転の職業	1
合計	26人

4) 就労移行支援事業の就労状況内訳 26人 (内 就労継続Bからの就労者5名)

	利用者名	事業種別	市町村	就労開始年月日	退社年月	関係機関	業種	診断
1	A	就労移行	町田	2013/4/1	継続中	レッツ	生産工程の職業	統合失調症
2	B	就労移行	相模原	2013/5/1	継続中	松ヶ丘園	事務的職業	発達障害
3	C	就労移行	相模原	2013/5/28	2013/9/30		サービスの職業	統合失調症
4	D	就労移行	相模原	2013/6/10	継続中	マッチング事業	事務的職業	統合失調症
5	E	就労移行	相模原	2013/6/24	継続中	仕事サポート	輸送・機械運転の職業	高次脳機能障害
6	F	就労移行	座間	2013/7/1	継続中		専門的・技術的職業	不安障害
7	G	就労移行	相模原	2013/7/12	継続中	松ヶ丘園	事務的職業	統合失調症
8	H	就労移行	相模原	2013/7/16	継続中	仕事サポート	建設・採掘の職業	統合失調症
9	I	就労移行	相模原	2013/7/17	継続中	仕事サポート	建設・採掘の職業	高次脳機能障害
10	J	就労移行	相模原	2013/7/24	2013/8/31	仕事サポート	建設・採掘の職業	発達障害
11	K	就労移行	相模原	2013/8/26	2013/9/30		卸売業・小売業	パニック障害
12	L	就労移行	相模原	2013/8/26	継続中		生産工程の職業	統合失調症
13	M	就労移行	相模原	2013/9/2	継続中	職業センター	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
14	N	就労継続B	座間	2013/9/11	継続中		建設・採掘の職業	統合失調症
15	O	就労移行	相模原	2013/10/7	継続中		運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
16	P	就労継続B	座間	2013/10/1	継続中	仕事サポート	販売の職業	統合失調症
17	Q	就労移行	相模原	2013/11/7	継続中		事務的職業	統合失調症
18	R	就労継続B	町田	2013/11/9	継続中		運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
19	S	就労移行	相模原	2013/12/16	継続中		事務的職業	統合失調症
20	T	就労移行	相模原	2013/12/24	継続中		事務的職業	統合失調症
21	U	就労移行	相模原	2013/12/25	継続中		運搬・清掃・包装等の職業	不明
22	V	就労移行	相模原	2013/12/30	継続中	職業センター	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症

23	W	就労移行	相模原	2014/1/20	継続中		生産工程の職業	統合失調症
24	X	就労継続B	座間	2014/2/3	継続中		運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
25	Y	就労継続B	相模原	2014/1/22	2014/1/27		運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
26	Z	就労移行	相模原	2014/3/1	継続中		生産工程の職業	統合失調症

2. 就労継続B事業 定員30人

「仕事をしたい」という利用者の気持ちに寄り添って希望する人は受け入れているので、毎日通所できない利用者も多く在籍者は約60人です。

時間をかけてゆっくり進めていますが、就労継続B事業から就労した方は5人でした。

利用者延べ人数(人)

就労継続B型事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	472	547	512	559	559	444	521	490	462	401	393	453	5813
新規入所者数	2	3	4	2	1	3	1	1	2	1	0	2	22
退所人数	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
利用率	75%	87%	85%	85%	85%	78%	79%	74%	81%	70%	69%	76%	79%

3. 生活介護 定員10人

障害程度区分6が2人、区分5が3人と障害の重たい利用者が多いので安全なサービス提供を心がけました。

月別利用者延べ人数

(人)

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	121	123	121	117	122	122	136	136	122	132	130	135	1517
新規入所者数	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	7
退所人数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
利用率	58%	59%	61%	53%	55%	64%	62%	62%	64%	69%	68%	68%	62%

4. 共同生活介護・援助 定員10人

調子を崩し入院となった利用者が3名重なる時期もあり、また長期に自宅に帰る利用者があり利用率が極端に減少しました。

1) 年間・月間・週間行事計画と実践

年間行事：クリスマス会の実施

月間行事：月1回の料理教室は、対象者がなく中止となり、代わりに8月より利用者のリクエストで作る夕食、「お楽しみ食事会」を実施しました。

週間行事：毎週水曜日の夕食後を「お楽しみ会」として設け、ゲーム・パズル・カラオケ等を行いほとんど

の利用者が参加しました。

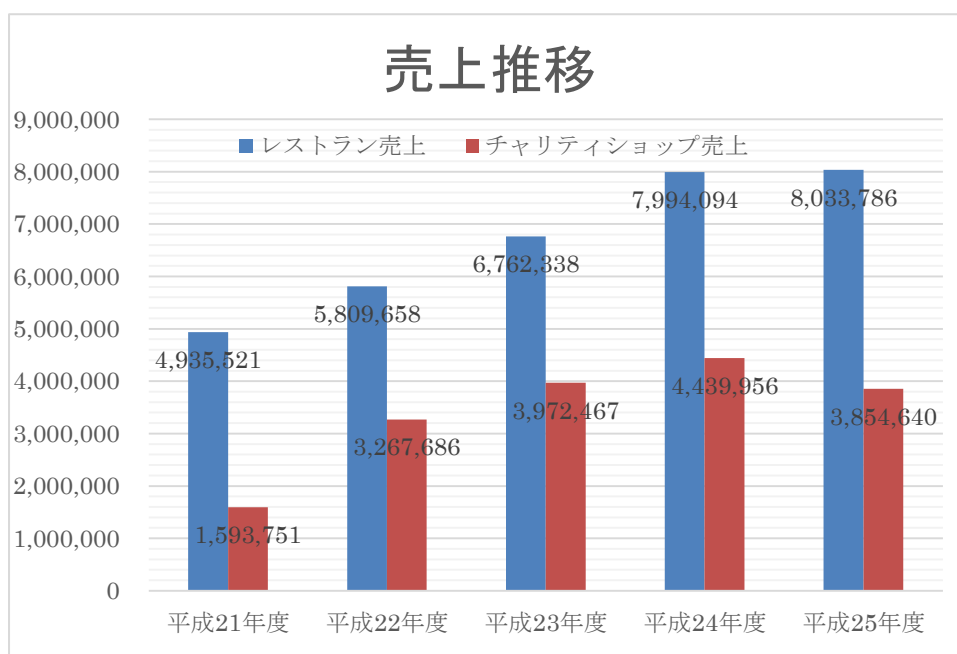
2) 共同生活介護・援助月別利用者延人数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
障害支援区分非該当又は 区分1の総延べ利用者数	82	35		1	8	13	40	42	31	31	28	31	342
区分2の総延べ利用者数	42	31	41	34	18	32	41	49	67	76	70	68	569
区分3の総延べ利用者数	40	38	38	43	37	40	66	40	34	41	18	29	464
区分4の総延べ利用者数	53	57	54	57	53	49	53	52	51	52	45	51	627
区分5の総延べ利用者数		6	7						1				14
区分6の総延べ利用者数													
全利用者数	217	167	140	135	116	134	200	183	184	200	161	179	2016
利用率	72%	54%	47%	44%	37%	45%	65%	61%	59%	65%	58%	58%	55%

IV 就労事業報告

工賃支給に関わる事業ですが、レストラン部門の売上は僅かに伸びているものの、チャリティ部門の売上は減少しています。事務系の就労、特にパソコンのできる利用者の就労者がうまくいったためと、オークションなどの作業量が減ったことが売上の減少につながりました。



1. チャリティ部門事業報告

お客様にも徐々に馴染んできて常連のお客様が増え、地域に定着しています。

今年度は売上が伸び悩みました。寄付件数は増えているので、商品のストックはありますが、卒業者が多くメンバーの延べ人数が激減したことが原因といえます。利用者と職員の頑張り、延べ作業時間合計が前年の6割程度にもかかわらず、売上8割に達しています。

1) チャリティショップの年度比較

(単位：円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
チャリティショップ売上	1,593,751	3,267,686	3,972,467	4,439,956	3,854,640
消耗品費	15,666	91,330	70,439	169,853	86,877
雑費	13,434	170,316	158,116	193,426	174,144
水光熱費	113,972	158,516	185,882	236,101	254,784
利益率	2%	8%	6%	8%	7%
利益率(水光熱費含)	9%	13%	10%	13%	13%

2) チャリティショップ寄付件数

平成21年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
持ち込み	25	29	36	42	43	57	59	51	72	40	50	67	571	48
引き取り														

平成22年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
持ち込み	88	194	101	97	94	72	102	124	109	101	98	82	1262	105
引き取り										2	3	3	8	1

平成23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
持ち込み	119	114	129	103	104	107	144	136	126	97	110	123	1412	118
引き取り	5	2	3	3	3	6	4	3	3	3	1	2	38	3

平成24年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
持ち込み	138	156	133	136	98	114	177	142	185	147	130	175	1731	144
引き取り	1	4	7	6	3	6	3	4	1	3	3	8	49	4

平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
持ち込み	179	195	160	179	130	124	186	182	165	159	96	148	1903	159
引き取り	4	3	1	2	2		1	6	3	2	1	4	29	2

2. レストラン・デザート部門 事業報告

レストランとフロアは特に利用者の入れ替わりが激しく、作業内容も複雑でスピードも要求されます。業務内容をより分かりやすくするために手順書の見直し、目安となる作業時間を提示するなど利用者が働きやすくなるよう工夫しました。

悪天候の時以外は安定してお客が入るようになっていました。また席数に限界があるのでセットでの販売を工夫し、客単価を上げるようにしました。お弁当の販売数も伸びています。

1) レストランの年度比較

(単位：円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
レストラン売上	4,935,521	5,809,658	6,762,338	7,994,094	8,033,786
材料費/消耗品費	2,425,769	2,858,603	3,777,885	4,288,614	4,324,639
水光熱費	662,562	860,536	1,102,492	1,348,647	1,307,810
利益率	49%	49%	56%	54%	54%
利益率(水光熱費含)	63%	64%	72%	71%	70%

2) お弁当販売数

単位：(円)

	平成24年度	平成25年度	伸び率
弁当	577200	883700	153%
お持帰りデザート	806600	914270	113%
お持帰り全体	1383800	1797970	130%

V 工賃

働き手となる利用者が減少したため、売上はあまり伸びませんでした。新規利用者数は増えていますので工賃は減少しています。特に大雪の降った2月は時給131円となってしまいました。

1. 施設全体 月別工賃

(単位：円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
総支給額	施設全体	485,982	507,460	492,576	492,309	484,533	406,323	513,512	491,709	451,935	391,846	331,665	403,516	5,453,366
	就労移行	242,746	223,672	216,473	201,496	195,171	170,736	232,183	226,136	209,765	184,449	158,163	181,307	2,442,297
	就労継続	211,804	252,139	246,309	257,581	256,054	204,062	243,093	227,755	207,666	171,130	145,382	188,053	2,611,028
	生活介護	31,432	31,649	29,794	33,232	33,308	31,525	38,236	37,818	34,504	36,267	28,120	34,156	400,041
時給	施設全体	165	154	154	153	154	154	153	154	154	154	133	143	152
	就労移行	165	154	155	153	154	155	154	154	154	154	133	143	152
	就労継続	162	152	151	151	151	151	151	151	152	152	131	141	150
	生活介護	162	152	152	152	152	151	151	151	151	151	131	141	150

2. 各部門別 年度別推移

(単位：円)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
工賃支給額総額	2,844,893	4,528,645	4,872,011	6,113,950	5,453,366
平均時給			171	179	152
利用者総労働時間			28489	34327	35814
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
売上	6,529,272	9,077,344	10,734,805	12,434,050	11,982,423
工賃支給額	2,844,893	4,528,645	4,872,011	6,113,950	5,453,366
工賃支割合	44%	50%	45%	49%	46%

VI 職員研修計画

教育の3本柱として「法人職員としての心構えや、接遇」が共通の土台としてあり、「相談支援・コーチング・介護等の知識」の力を伸ばす教育、その他「訓練環境を整え利用者の力を引き出すスキルを獲得する」を柱としています。

特に利用者支援の方針として「利用者中心」「動けないのは支援者の責任」「利用者にも運営に関わっていただく」を掲げていますが、おこなっている支援内容の実際を「利用者と職員が共に成長できる就労支援サービスの取り組み」としてまとめ、第21回精神障害者リハビリテーション学会で発表しました。

平成 25 年度 法人内研修

	内容	担当	参加人数
平成 25 年 6 月 日	法令遵守研修	鈴木	14 名
平成 25 年 7 月 15 日	相談支援事業について 総合支援法給付の流れ	渡邊	13 名
平成 25 年 10 月 8 日	精神障害者リハビリテーション学会 予演会	神崎	12 名
平成 25 年 10 月 17 日	障害者虐待防止法について	渡邊	4 名
平成 26 年 1 月 15 日	記録 電子化 サービス等利用計画作成	天野 渡邊	12 名

平成 25 年度 法人外研修

	内容	参加者
平成 25 年 5 月 16 日	株式会社ダンウェイ（障害者が分業でホームページを制作できるソフトの体験）	山下
平成 25 年 6 月 6 日	べてるの会当事者研究	山下
成 25 年 7 月 7 日	「精神病院を捨てたイタリアからのメッセージ」 大熊一夫氏（ジャーナリスト） 「精神病院を出て町へ」 伊藤純一郎氏（精神科医）	鈴木・遠藤

平成 25 年 7 月 24 日	災害・緊急時に役立つ知識 相模原市災害ボランティアネットワーク	鈴木
平成 25 年 9 月 9 日	福祉施設向け結核研修	長谷川
平成 25 年 10 月 17 日	TEACCHに学ぶ発達障害の支援の実際 川崎医療福祉大学特任教授 佐々木正美氏	鈴木・神崎・遠藤・木村 天野・栗原・菊池・山下 長谷川
平成 25 年 11 月 17 日・18 日	第 21 回精神障害者リハビリテーション学会	神崎・木村・鈴木
平成 25 年 11 月 27 日	他施設見学 相模が丘病院・デイケア・グループホーム	栗原・吉本・山下
平成 25 年 12 月 17 日	計画相談と個別支援計画 松が丘園 二宮 淳氏	鈴木

Ⅶ 他機関との連携

就労支援では、仕事探しやジョブコーチ等他機関と協力して行いました。

1. 各機関との連携

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入所相談	1	2	2	2	5	3	3	9	3	2	6	8	46	4
他機関との連携	12	15	10	13	16	12	5	9	8	8	3	8	119	10
体験	5	4	16	20	11	12	11	9	4	7	11	13	123	10

2 研修・見学者

1) 研修

年月日	研修受け入れ	人数
平成 25 年 5 月 8 日	北里大学医学部 2 年生早期体験学習	2 名
6 月 13 日	相模原市職員 精神保健福祉基礎研修	10 名
10 月 15 日～31 日	北里大学看護学部 精神看護 総合実習	2 名
平成 26 年 2 月 6 日	精神保健ボランティア養成講座	1 名
3 月 15 日	聖マリアンナ大学 看護学生	4 名

2) 見学

年月日	研修受け入れ	人数
平成 25 年 4 月 8 日	北里大学東病院デイケア	11 名
5 月 16 日	さがみはらパーソナルサポート	2 名
6 月 19 日	相模原市中央区生活保護 ケースワーカー	3 名
6 月 26 日	秦野病院職員	5 名
7 月 2 日	厚木生活支援センターハートラインあゆみ	2 名
9 月 5 日	かるがも会 (NPO 法人)	6 名
9 月 27 日	愛川町家族会 職員・家族	8 名
平成 26 年 2 月 6 日	ハローワーク企業向け施設見学会	10 名